

企業名： 東洋建設

レポート名： コーポレートレポート 2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

この企業は、経営理念において人間尊重、創意革新、責任自覚を念頭に置いていることから、社員全員の主体性を重視していることははっきりと読み取れる。また、行動規範においては社会的使命を果たすこと、公正で信頼される事業活動であること、人を大切にし、社会とよりよい関係であることを目的としているため、社会との関係性を重視していることがわかる。以上により、この会社が目指す姿を理解することができる。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

東洋建設は、土木、建設事業を核として様々な事業を国内だけではなく海外にも展開しており、日本国外からの収入が多いことがわかるこの点が当企業の競争優位性であると理解することができた。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

2020年頃から新型コロナウイルスが爆発的に感染拡大したが、リモートで指示を出すなどをして適切な対応をとった。また、2020年度の業績は過去最高益を記録している。このことから、緊急事態にも臨機応変に対応できていることがわかり、海外からの収入も多いという競争優位性の持続性も理解できる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

東洋建設の従業員数は1619人であり、その中には障がい者、女性、定年再雇者も含まれており、様々な優秀な人材を積極的に集めていることが読み取れる。そのため、この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できていると思う。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

日本では近年首都直下地震や、南海トラフ大地震の懸念がされているが、耐震性の強い建物の建設や、万が一災害が起こった時に倒壊した建物の対処法についてこの報告書では具体的に述べていない。そのため次年度の統合報告書では、読んだ人が、災害が起こっても安心

できるようなコーポレートレポートを作成することが改善余地であると思った。